

令和元年度 西日本高速道路株式会社事業評価監視委員会
議事要旨

1. 開催日時 令和元年12月3日(火) 10:00~12:00
2. 場 所 西日本高速道路株式会社 19階 会議室
3. 出席者 [委員] 阿部委員、宇野委員、正司委員、中瀬委員、中野特別委員
[会社側] 代表取締役社長 酒井和広、代表取締役副社長執行役員 前川秀和、
取締役専務執行役員 芝村善治、取締役常務執行役員 村尾光弘、
取締役常務執行役員 北村弘和 他

4. 議 事

- ①委員の互選により委員長に正司委員が選任され、了承された。
- ②下記の3区間に関する再評価、事後評価について審議

《評価対象区間》

(再評価)

- ・ 中国横断自動車道姫路鳥取線 (播磨新宮~山崎)
- ・ 四国横断自動車道阿南四万十線 (徳島東~徳島)

(事後評価)

- ・ 四国横断自動車道阿南四万十線 (徳島~鳴門)

■中国横断自動車道姫路鳥取線 (播磨新宮~山崎)

➤ 主な意見

- ・ 希少猛禽類に対する代替巣設置は国内でも高水準な保全対策である。
- ・ 当該事業により中国自動車道と山陽自動車道を軸としたラダー型ネットワークが構築されることとなり、長期間の規制が必要な大規模更新工事等を実施する際、迂回路あるいは代替路が確保できるという点で、評価対象区間の重要性は非常に高い。
- ・ トンネル工事の安全対策等により事業費は増加するものの、工事を安全に実施し、令和3年度に確実に便益を発現させることは十分に価値がある。
- ・ 播磨科学公園都市の SPring-8(大型放射光施設)や SACLA (X線自由電子レーザー施設)は近年注目が高まっており、当該事業により一層の活性化が期待される。

➤ 結果

- ・ 対応方針(原案)については了承する。

■四国横断自動車道阿南四万十線（徳島東～徳島）

➤ 主な意見

- ・事業費が増額することとなるが、B/C が 1.1 でありかつ B/C には含まれない防災対策面をはじめとする多様な効果が見込まれ、徳島県も期待している。早期の開通を目指していただきたい。
- ・底生動物や鳥類の調査において最新の技術レベルの調査を行っている。
- ・多自然居住地域の活性化の点において、（徳島県）神山町や上勝町が IT 企業のサテライトオフィスを誘致すること等で活性化を図っており、自然が多い地域でのまちづくりの見本となっている。当該事業により更なる地域の活性化につながることを期待される。
- ・徳島市内の現在の道路網では、南北の通過交通も市内中心部を通らざるを得ないが、当該事業により、交通の分散が図られ大きな効果が期待される。
- ・災害時に阿南など徳島県南部地域に対する緊急輸送路として活用できる。一方で、徳島東 IC 出口は津波浸水予測範囲内にあることから、発災時における緊急輸送路としての活用方法について地元関係機関と協議調整が必要である。
- ・徳島東 IC 以南は、新直轄区間であるため、今後道路ネットワークとして評価をどのようにしていくかを、整理していく必要がある。

➤ 結果

- ・対応方針（原案）については了承する。

■四国横断自動車道阿南四万十線（徳島～鳴門）

➤ 主な意見

- ・高知・愛媛ナンバーの車をよく見かける。高知・愛媛から鳴門方面に移動される際に当該区間を利用していただいていると実感している。
- ・海に近接した位置に盛土構造の道路ができることにより津波の抑制効果が期待される。また自治体と連携し 10 か所の津波避難施設を設置し、地域住民の安心感が高まった。
- ・当該事業により、事故の発生確率が高い一般道から高速道路へ交通が転換したという点から安全面において価値があった。
- ・高速道路が完成し、浸水範囲が見直される予定のため、注視されたい。

➤ 結果

- ・対応方針（案）については了承する。

（その他）

- ・将来交通量が各種要因により、見直された際は、説明方願いたい。

以 上